

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 6 月 6 日			
所属学部・研究科	総合科学部/研究科 2 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	バスクカントリー大学 (国名: スペイン)			
所属学部・学科等名	USAC			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 28 年 8 月 30 日 ~ 平成 29 年 5 月 27 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 長期留学ビザ			
	ビザ申請先: スペイン大使館			
	取得方法, 提出書類: 申請・受け取りともに東京にあるスペイン大使館に出頭する必要あり。 無犯罪歴証明書、残高証明書、健康診断書、保険加入証明書 等			
	手続きに要した日数: 3ヶ月			
その他必要な事前手続き	航空券購入、保険加入、クレジットカードの準備 (キャッシュパスポートが便利)			
出国年月日	平成 28 年 8 月 30 日			
経路	東京 → 北京 → マドリッド			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	3日間のオリエンテーション			
帰国年月日	平成 29 年 5 月 27 日			
経路	ビルバオ → アムステルダム → 東京 → 広島			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	900,000 (現地での旅行費を除く)	円	
	内訳	渡航費	140,000	円
		保険料	84,410 (9ヶ月分)	円
		教科書代(学費)	25,000	円
		宿舍費	300,000	円
		食費	200,000	円
		その他 (フィールドワーク費)	90,000	円
	(特別授業 費)	84,000	円	
	(費)		円	

3. 授業について			
2016年 後期	9月5日	～	12月14日
2017年 前期	1月18日	～	5月17日
年 学期	月 日	～	月 日
年 学期	月 日	～	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	スペイン語文法、スペイン語会話練習、スペイン料理教室 (全10回)、サーフィン (全8回)		
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること		
学術面に関する後輩へのアドバイス	基本的に授業は午前中で終わるが、日々の課題が最低2時間程度、週末では一日中かかることもある。時間の管理をして課題に追われないように。		
4. 生活等について			
(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居の広さ	約 6 畳	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 (2 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居費	1ヶ月当たり 330ユーロ	(現地通貨)	約 4万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()		
留学先での住居全般に関するアドバイス	ルームメイトがいるならば、掃除の分担や共有するものについての話し合いを早いうちに済ませておく。また、ストレスを感じること (騒音や衛生面) があれば伝え合うべき。		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった		
入院した場合	により 日入院		
留学に当たり保険を	<input type="checkbox"/> 掛けた (大学指定のもの) <input type="checkbox"/> 掛けなかった		
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()		
掛け金は	9ヶ月間 84,410 円 (大学指定のもの) 補償額 死亡 10,000,000 円, 入院1日 円 その他 ()		
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名			
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：		

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療機関に行くことがなかったのでわからないが、日本から薬を一式持って行って対応した。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	体の不調を感じた時ははやめに休養をとり悪化させない。無理をして悪化させた場合、余計に大変になる。持っていくべきおススメのものは、使い捨てマスク、イソジン(うがい薬)、オロナイン。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特になし。しかし、荷物はしっかりとチャックで閉められるものにする、人込みでは荷物は前に持つ、観光地でリュックを背負う時は鍵をかけるなどの事前の予防は必要。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
留学中は日本人とあまり関わらない、日本語を使わないなどの考え方もありますが、あまり初めから自分を苦しめすぎるのは良くないです。息抜き程度にたまに家族や友人と電話したり、日本のテレビ番組を見たり、ストレスをため込みすぎないようにすることも大切です。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 31 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 31 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	現在3年生で、5月に帰国したので2タームから通常授業に復帰する。進路としては観光系、宿泊施設系を考えている。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に取れる単位は取り終えておくべき。私の学科、総合科学部の社会探求領域は一年間の留学をしても4年間で単位を問題なく取り終わられるようになっているので問題ない。しかし就活に支障をきたしたくなかったら2年の後期から、もしくは3年の後期で半年間の留学を選択すべき。	
6. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
<p>私が滞在していたビルバオは比較的に治安も良く、食べ物も美味しいためストレスを感じることなく勉強できます。カルチャーショックやホームシックもありますが、それこそ留学の醍醐味だと思って楽しんで乗り越えてください。すべてが終わるまでは不安や心配がつきものですが、終わってみれば「楽しかった」の一言です。色々考えすぎずに挑戦してみることをおすすめします。¡Buen Viaje! (良い旅を)</p>		

学習の概要に関するレポート

私はスペイン語の語学留学だったので、スペイン語を理解し使用するための授業がほとんどでした。毎日朝 8:45 から 10:30 まで、8 月から 12 月はスペイン語の文法の授業を受け、1 月から 5 月はスペイン語の作文、そして多くの単語を理解するための授業を受けました。最終的には DELE の C1 (上級) レベルの教科書を使用するまでになりました。そのほかの授業としては、前半はスペイン語会話練習、マーケティング入門 (英語)、スペイン料理教室 (全 10 回、追加料金あり)、後半は上級スペイン語会話練習、スペイン映画から見るスペイン現代史、サーフィン (全 8 回、追加料金あり)、インターンシップを受講しました。

私が参加した USAC というプログラムはアメリカに本社があるグループ協定なので、私たち広島大学からの参加者 3 人以上は全員アメリカ人でした。そのため、ほかの生徒は全員初めから英語ですぐに会話をはじめ友達を作り、英語もスペイン語もあまりしゃべれない状態で行った私は疎外感を感じることもありました。授業中もスペイン語を英語で説明することもあり、理解に苦しむことも多々ありました。しかし、そのおかげでスペイン語も英語も同時に伸ばすことができたので、今思えばとても恵まれた環境だったと思います。

USAC プログラムは、その土地独自の授業も用意していて私はそれがとても好きでした。私が受講したのはスペイン料理教室とサーフィンです。私が滞在していたビルバオは美食で有名なバスク地方に位置するので、レストランやバーで食べる食事はどれも本当に美味しかったです。それとほとんど同じメニューを、バスク出身の料理の先生に週に一回スペイン語で教えてもらいながら、スターター、メイン料理を 2 皿、デザートフルコースを計 10 回つくることができ、いい経験になったと思います。そのうち何品かは私の得意料理となり、家族や友人にも振舞えるしこれからもずっと作り続けることができるので、留学時代が恋しくなった時は自分で作って思い出に浸ろうと思います。さらにビルバオは北の海岸に位置しサーフィンがとても盛んな地域で、私たち留学生に対して初心者向けの授業も開講していました。自分の家からは地下鉄で 30 分、そこから歩いて 10 分の距離にあり、クラスメートとインストラクターと共に一回 2 時間、計 8 回練習しました。完全に初心者だった私は最後まで不恰好にしかできませんでしたが、とても楽しくたくさんの友達を作ることもできました。これからも時間を見つけて挑戦したいと思うようになったので、新たな趣味を見つけられたということでもいい機会だったと思います。

多くの参加者は半年で入れ替わっていく中で、私は 9 ヶ月間滞在していたため新しい人に出会えた喜びも別れの悲しみも多く経験しました。私は留学中にできるだけ多くの時間を他の人との交流の時間に当てようと考えていたので、様々な人種の様々な背景を持つ人々と話すことができました。今までの私の世界がいかにか狭く偏っていたかを実感させられ、新たな視点で物事を見られるようになったので、大学内での授業以外でも価値のある時間を過ごすことができたと思います。

生活の概要に関するレポート

留学中だからと言って、何もせずに毎日が充実していて刺激的で輝かしいものになるというわけではありません。むしろ最初は、友達もできる前でバイトもなく日本にいる時よりも格段に自由に使える時間が多かったので、暇な時間に苦しみました。金銭的な理由と自由を確保するためにホームステイではなくシェアルームを選んだので、生活を自由に組み立てられる状態にあったのですが、何をすべきか自分がどうしたいのかよくわからなくなり、初めの頃は何度もホームシックに陥ったり逃げ出したくなったりしました。日本にいる頃は比較的に対人関係で困ることもなく、常に予定で忙しかったので、言語の問題で友達を作ることすらままならない状態が苦痛でしかありませんでした。それでもルームメイトがいつも支えてくれて、同じクラスの中で気にかけてくれる人がいて、自分の居場所を感じることができたので、立ち直って頑張ろうと思えるようになりました。私がしたことは可能な限り友達との時間を作ることです。初めは何を言っているのか聞き取れなかったけど、その人のイントネーションに慣れてくると話を理解できるようになり、少しずつではあるけれど発言することもできるようになりました。全く発言できない時も聞いて理解しようと努力したことで、新たな表現や単語を知れたし、違う国の人の意見や考え方、生き方を知ることができたので、とても有意義な時間でした。その中で、日本や自分自身についても見直すことができました。例えば、ビルバオでは日曜日はスーパー、百貨店、服屋を含め、レストランとバル以外すべてが閉まります。最初に知った時は不便さを感じましたが、それは店員も含め全員が家族との時間を大切にするための共通のルールなのだと教えられた時、日本人の労働形態について疑問を抱きました。自分自身についても自分の魅力となるどころや、気をつけなければいけないところに気がつくことができました。当初の目標だった「国境を越えて魅力的な人になる」が達成できたかどうかは、これから私が関わっていく人が評価してくれると思います。

留学も後半になると、言語もいくらか喋れるようになり、友人も多くできました。インターンシップを始めたこともあり、日本にいた時のように忙しい日々が戻ってきました。そうしてやっと、自分の好きな自分でいられるようになったと思います。

私と同じような留学を計画している人、夢見ている人がいるならば、私ができるアドバイスとしては、とにかくやってみるべきです。これは無計画にとにかく始めろというわけではありません。計画、作戦は大切です。留学期間や帰ってきてからの生活を左右します。そうではなくて、できるかな・不安だな・どうしようと思っているならば、実際どうにかなるから、あれこれ杞憂せずに決断すべきです。日本での友達との貴重な時間とか、失うものは多くあります。しかし必ず得るものがあるから、挑戦してみてください。

